

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 1 - 17
作成年月日 H24. 7. 23
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 公共下水道事業

事業開始年度 平成19年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成30年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 公共下水道事業特別会計 款 建設改良費 項 建設改良費 目 建設改良費

担当課 上下水道課 担当係名 下水道施設係 調書作成者職氏名 課長 安藤 晃

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 27

分類	コード	名称
基本目標	1	安心して暮らせる“まちづくり”
施策項目	4	上下水道の整備
単位施策	2	下水道事業

I. 事業計画

(1) 事業の相手	※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 興部公共下水道区域内住民
(2) 事業の概要	※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 興部処理区は供用開始以来23年が経過し、処理場・管路共に老朽化が目立ち機器の更新、更に污水管路の長寿命化計画を国の交付金事業により進めているところである。今後は、下水処理場の正常な運転管理と処理水の安定的な放流に努めるものである。また、管路についても永年経過により様々な問題が生じており、修繕・改修を含め長寿命化計画に則り整備実施を図るものである。
(3) 事業の成果 目指す姿	※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 老朽化した施設（処理場・管路）の維持管理費低減、施設の長寿命化が図られ水質改善・環境整備に寄与するものである。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区 分	19年度 決 算	20年度 決 算	21年度 決 算	22年度 決 算	23年度 決 算	24年度 予 算	20～24年度 合 計
事業費(千円)	0	90,467	91,945	126,671	78,201	17,618	404,902
財源内訳							
国庫支出金		48,680	47,923	68,236	42,009	7,000	213,848
道支出金							0
地方債		40,400	37,200	52,500	32,400	5,000	167,500
その他							0
一般財源		1,387	6,822	5,935	3,792	5,618	23,554

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☒ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	供用開始以来23年が経過し、様々な機器類の修繕・更新等維持管理費が高む中、国の交付金事業により処理場機器類の更新と管路の長寿命化を図るものである。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☒ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	興部処理場については法定耐用年数の超過している機器類より随時更新を実施している。また、管路についても永年経過により様々な問題が生じていることから、優先順位を決め国の交付金事業により補修・改修事業を進めるものである。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☒ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	今日、私たちの生活に欠かす事のできない下水道は、処理場・管路とも機能を停止させることはできないものである。区域内住民の生活と水質環境整備を図るものである。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☒ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	下水道事業者の実施が適当であると判断する。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	現在、公共下水道区域内整備率は82.3%・普及率は99.4%・水洗化率は91.4%となっている。

特記事項

V. 一次評価（所管課）、二次評価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評価選択理由／今後の方向性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	町民の生活に欠かすことのできない下水道の維持・更新を効率的に推進する。水質環境面からも施設の維持更新は必要不可欠である。
二 次 評 価	継 続 【現状維持】	生活環境の維持のため必要不可欠な事業である。長寿命化計画に則り、計画的な整備を図る必要がある。

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評価選択理由／今後の方向性
継 続 【現状維持】	

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの